

整理番号	31007
評価対象年度	令和4年度
編成区分	国の経済対策

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月15日
事業担当課	世界遺産室

《基本情報》

事務事業名	【単独】世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A1 地域の個性を守り、活かし、伝えます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	歴史文化遺産・景観・自然が	かけがえのない個性として、地域の中で大切に守られ、活かされ、伝えられている。	
個別施策	A1-2 歴史文化に対する市民意識を高め、その魅力を発信します		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	長崎の歴史文化が	市民に学ばれ、親しまれ、国内外に発信されている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	平成27年に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を紹介する展示をしているが、登録時にA1パネルと長崎歴史文化博物館の企画展終了後に譲り受けた展示品等を集め、低予算でボード造作とAV機器購入とで仮設的に展示をしている。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	旧三菱第2ドックハウスを長崎市における世界遺産のガイダンス施設の中核施設にしたい。
課題(どういことをする必要があるのでか)	「明治日本の産業革命遺産」協議会及び産業遺産国民会議で策定した8県11市のガイダンス施設整備のための「インタープリテーション戦略※」に基づく共通展示をベースとした本格的な展示にリニューアルしたい。 ※インタープリテーション…遺産価値等を分かりやすく来訪者に伝えること。平成27年の世界遺産登録時に世界遺産委員会から、資産価値等を来訪者へ適切に伝える戦略を策定するよう勧告がなされたことから内閣官房を中心に「インタープリテーション戦略」を策定している。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

＜事業の概要＞

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>「明治日本の産業革命遺産 表紙・表紙、造船、石炭産業」(011-11市、20構成資産)の 価値等を伝えるガイダンス施設を各都市が設置しており、長崎市におけるガイダンス施設 と位置付けているグラバー園内の旧三菱第2ドックハウス1階フロアの展示をリニューアル する。 R4年度に「インタープリテーション戦略」に基づく設計業務委託、R5年度に施設内の展 示整備を実施する。 【事業期間】 令和4～5年度 【総事業費】 14,928千円 【事業費内訳】 令和4年度 展示手法に関する設計 4,928千円 令和5年度 整備工事 10,000千円 【履行場所】 旧三菱第2ドックハウス1階</p> <p>※旧三菱第2ドックハウスをガイダンスの中核施設とする理由 旧三菱第2ドックハウスは高台に立地し、長崎港の対岸に位置する三菱長崎造船所の ジャイアント・カンチレバークレーンや第三船渠などそれぞれの構成資産の位置関係を把 握できるだけでなく、グラバーと三菱長崎造船所との関係性や明治時代に海外との交易 の場として栄えた往時の長崎港の雰囲気を感じることが出来る場所であることから、 明治日本の産業革命遺産の長崎エリアの中核的なガイダンス施設としている。また、近 隣には「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である大浦天主堂があ ることから二つの世界遺産があるまち 長崎について学ぶことが出来る場としての相乗効 果も期待できる。</p>					
<p>業務量の増減</p>	<p>107時間の増</p>					
<p>市民等の参画と 協働のまちづくり (取組みに☑をし、 その内容を記載)</p>	<p><input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働</p> <p>展示替えにあたりグラバー園指定管理者と協議を行い、園内の旧グラバー住宅との動線 を検討し効果的な公開方法を決定する。</p>					
<p>事業期間</p>	<p><input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (令和4年度～令和5年度)</p>					
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>
	<p>当年度</p>	<p>4,928</p>			<p>4,400</p>	<p>528</p>
	<p>総額</p>	<p>14,928</p>			<p>14,400</p>	<p>528</p>
	<p>財源名称</p>	<p>地域活性化事業債</p>				
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>2つの世界遺産を訪れたことがある市民の割合(%)</p>				
	<p>年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>	<p>令和8年度</p>
	<p>目標値</p>	<p>49.9</p>	<p>51.9</p>	<p>53.9</p>	<p>55.9</p>	<p>57.9</p>
	<p>成果指標及び 目標値の説明</p>	<p>旧グラバー住宅を構成資産の1つとする「明治日本の産業革命遺産」の展示充実に併 せ、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を周知する展示とする。相乗効果によ る2つの世界遺産への来訪者数を増加させることを目的にしているため、2つの世界遺産 を訪れたことがある市民の割合を成果指標とした。 基準値(令和2年度=45.9%)から各年度2%増を目標とした。</p>				

## 評価結果

### (1)今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

### (2) 評価会議における指摘事項

現在、「明治日本の産業革命遺産」を紹介する展示については、グラバー園内の旧三菱第2ドッグハウス1階にて仮設的に行っている状況であるが、8県11市のガイダンス施設整備のためのインタープリテーション※戦略に基づいた本格的な展示へとリニューアルするため、令和4～5年度にかけて設計業務委託、整備工事を行うものである。

旧三菱第2ドッグハウスをガイダンス中核施設として展示内容を充実させ、近隣の大浦天主堂との相乗効果を図ることで、来訪者数の増加が期待されることから、事業の実施は適当である。

※インタープリテーション…遺産価値等をわかりやすく来訪者に伝えること。